

各国・地域における放射線検査機関
(米国・西部)

2011年4月13日

ジェットロ・サンフランシスコ事務所

検査機関名	ARS International
所在地	2609 North River Road Port Allen, LA 70767
電話	225-381-2991 (代表) 【担当】 Steve Shirley Mark Krohn Virgene Ideker-Mulligan Daryl DeArmond Kim Brewer
F A X	国番号 1 - 225-381-2996
E-mail	http://www.amrad.com/contactus.html (オンラインフォーム)
URL	www.amrad.com
検査対象品	すべて
検査に必要な検体量	対象品による
測定可能な放射性核種	*フルスケールでの放射性核種の分析が可能 *ほぼすべてのアイソトープ (2 Ci 迄)、低量のトリチウム、超ウラン元素等
検査料	対象品、測定核種による
検査にかかる必要日数	*対象製品、検査したい核種、検査場所による (24~48 時間で可能なものもあるが、概して平均 21 日) *参考：移動式放射能物質研究所ユニットではほぼすべてのアイソトープ (例：セシウム 137、コバルト 60、ラジウム 226/228 等) の土壌分析を 5 分で実施可能

<p>当該国政府の登録・認定・指定・検査機関かどうか</p>	<p>以下のライセンス等を保持：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 米原子力規制委員会 (Nuclear Regulatory Commission/NRC) 発行の一般輸入ライセンス ● 放射性物質を扱うライセンス (ルイジアナ州、メキシコ、提携する他州及び NRC との相互契約可能) ● 放射性物質の汚染除去・廃炉ライセンス (ルイジアナ州、テキサス州、提携する他州及び NRC との相互契約可能) ● 研究所ライセンス (フロリダ州、ルイジアナ州、ネバダ州、ニューメキシコ州、ニューヨーク州、ペンシルバニア州) ● 環境分析ラボの監査・認証制度 (DOECAP/Department of Energy Consolidated Audit Program, NELAP/National Environmental Laboratory Accreditation Program) <p>※ルイジアナ州の原子力発電所のモニタリングを担当 ※自社ラボに加えて、全米の NELAP/DECAP 等の認証を受けたラボとの連携が可能</p>
<p>相手国の規制等により陸揚げできない貨物の検査はどうなるのか、保税状態で検査可能か</p>	<p>どの場所でも検査可能。人員を日本などに派遣し対応、あるいは米国で行うことも可能。ドックにある船に人員を派遣して検査することも可能。</p> <p>*分析ラボ、現場サンプリング、オンサイト分析（移動式放射能物質研究所ユニット）が可能</p> <p>*放射能を持った物品等のサンプルを他国から米国に輸入する許可証保持</p>

検査機関名	Dade Moeller & Associates ※主要サービス：現場で回収された検体の米国内研究所での分析、商業製品や施設の放射能汚染を現場にて監視しながらのサンプル回収及び分析、放射能調査を顧客自身で実施するためのトレーニング等 ※震災後、ウェブサイトにて Dade Moeller 社の日本の震災に対する対応を掲載 (http://www.moellerinc.com/rad-japansupport.php)
所在地	1835 Terminal Drive Suite 200 Richland, WA 99354
電話	+1-509-946-0410 (Ext. 257)
F A X	+1-509-946-4412
E-mail	wherrington@moellerinc.com
URL	www.moellerinc.com
検査対象品	なんでも検査可能： 電気機器、自動車部品、その他の製品等汚染の可能性のある工業製品、食品、施設あるいは土地、環境媒体（空気、水、土壌等）等
検査に必要な検体量	検体量や調査手法は製品及び分析プロトコルによって異なる。例えば、食品や環境媒体の場合、検体量はそれぞれ異なるが、湿重量1キログラム当たりの核種濃度の測定にはおよそ 100 グラムが必要となる。製造された製品の汚染状態を判断するには、現場測定（ベータガンマ分析）及び拭き取り可能な放射能検体の検出の実施が一般的。Dade Moeller 社ではチームを派遣し、製品や貨物専用コンテナの調査を実施したり、顧客自身が放射能調査を行えるようにトレーニングを提供することもできる。
測定可能な放射性核種	いかなる放射能汚染も測定可能。ただし、低量のガンマ及びアルファ核種の識別については、外部検査機関に委託する場合もある。
検査料	検査料金は、検出される核種、分析プロトコル、必要とされる作業量によって決まる。例えば、顧客側の現場で全体の放射能レベル測定を実施する場合のほうが、核種ごとに個別サンプル分析を実施する場合よりも検査料金が低くなる。個別サンプル分析には Dade Moeller 社の研究所（米国）にサンプルを送付するなどの費用も発生する。Dade Moeller 社のウェブサイトでは、研究所での検体分析に関する料金を紹介しているが、すべてのサービスに関して、料金は交渉のうえ決定され、個別のニーズに合わせて調整可能。
検査にかかる必要日数	研究所における標準的な検査日数は、求められる分析内容や検出レベルに応じて変わってくるが、およそ数日～数週間である。全体の放射能レベル測定が現場で行われてもなお、核種の濃度情報については研究所での分析が必要となる。 汚染物質の拭き取りが可能な面を持つ工業製品や機器については、吸い取り紙で表面を拭き取ったりこするなどし、回収された物質を分析

	<p>する。携帯型の機材を使った現場での分析、あるいは研究所にて検体分析、いずれの方法も可能。現場での調査は、研究所での適切な検定基準と比較して使用できる。</p>
<p>当該国政府の登録・認定・指定・検査機関かどうか</p>	<p>以下のライセンス等を保持：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 17025:2005 ● NELAC Standard（環境分析ラボの監査・認証プログラム /National Environmental Laboratory Accreditation Conference Standard） ● ANSI NQA-1, ANSI N 323A ● 放射性物質を扱う州ライセンス（メリーランド州、ワシントン州） <p>その他、各種専門資格保持者多数：保健物理学者 30 名強（Health Physicist）、産業衛生学者 10 名程度（Industrial Hygienist）、安全専門家 10 名程度（Safety Professional）</p>
<p>備考</p>	<p>日本発あるいは経由する製品の放射能汚染を、標準的な放射能調査手法によって検査分析することが可能。</p>

【免責事項】

ジェットロは、本資料の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェットロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。ジェットロでは情報・データ・解釈等をできる限り正確に記するよう努力しておりますが、本資料で提供した情報等の正確性についてジェットロが保証するものではありません。また、各国・地域の状況は刻々と変わっておりますので、ご利用に当たっては当該国・地域の政府機関への確認をおすすめします。

検査機関名	Radiation Safety Engineering, Inc.
所在地	3245 North Washington Street Chandler, Arizona 85225
電話	480-897-9459
F A X	480-892-5446
E-mail	mmetzger@radsafe.com
URL	www.radsafe.com
検査対象品	植物や動物性食品を含むほとんどの固体、液体の検査可能。
検査に必要な検体量	固体：1キロ以上 液体：1リットル以上 が必要
測定可能な放射性核種	γ線エネルギー分析を使い、食品等の放射性核種を検査し、FDAの規則内に当てはまるか確認可能。
検査料	検査によるが、1つにつき\$60から\$100
検査にかかる必要日数	48時間（営業日）
当該国政府の登録・認定・指定・検査機関かどうか	Arizona Radiation Regulatory Agency と Arizona Department of Health Services からの免許

【免責事項】

ジェットロは、本資料の記載内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェットロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。ジェットロでは情報・データ・解釈等をできる限り正確に記載するよう努力しておりますが、本資料で提供した情報等の正確性についてジェットロが保証するものではありません。また、各国・地域の状況は刻々と変わっておりますので、ご利用に当たっては当該国・地域の政府機関への確認をおすすめします。